

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800079
事業所名	グループホームこまきの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	新興住宅地に立地することから、地域との交流に苦慮しており、目標達成計画に取り上げて取り組んでいる。 町内会に加入しているが、これまでは回覧板が回ってこなかった。運営推進会議に参加した副会長の意見で、今後回覧板が回ってくることとなった。ホームでは、回覧板による地域行事等の情報収集を楽しみにしている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	利用者や家族、市・主管課の課長、地域包括支援センター職員、市・社協職員、民生委員等をメンバーとし、運営推進会議が年間6回開催されている。 ホームからの各種報告に続き、質疑応答や意見交換が行われている。 法人の「拘束虐待防止委員会」が開催されると、運営推進会議でもその内容が報告されている。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議には、毎回、市・介護保険課課長や地域包括支援センターの職員が参加し、それぞれの立場で意見や助言をしている。 地域包括支援センターからは、他のホームの状況説明や認知症カフェの案内もある。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	ホームに来訪した際や運営推進会議に出席したときには、家族から意見や要望を聞き取っており、可能な限りホーム運営に反映させている。 今年度の小旅行を家族にも案内したが、平日開催であったためか2家族のみの参加となった。 毎月、写真を多用した「こまきの泉通信」と、文章中心の「お手紙」を家族に送り、ホームの取組みと利用者の様子を伝えている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	×	○	○	○	○	○	○	○	◎